この人、どんな人？

alleyで子どもたちと生活を共にする大人たち。
そんな大人達がどんな人なのか、深掘りしていきましょう！
今月は small alley cafe の2人と子育てひろばの職員です。

アトリエ担当　河合

左から、ゆうたさん、やすかさん、あめださん

ゆうた　今日は皆さんが今一番欲しい物をお聞きできればと思います。

やすか　ソファが欲しいけど、面白くないなぁ…

ゆうた　やすかちゃんある？

やすか　やっぱりアトリエが欲しいかなぁ。

ゆうた　今はお家で描いてるの？

やすか　完全に家かな。

ゆうた　自分が好きなものが詰まった空間で制作したいんですよね。

やすか　それって、自分の家みたいじゃない？プライベート空間みたいで。

ゆうた　その方が自分の目が嬉しいから、制作意欲湧くんですよね。

のぶ　へぇ～。のぶさんはどうなの？

ゆうた　僕もデスク周りはフィギュアだらけなんで、気持ちは何となくわかりますね。

あめだ　その方がモチベーションも上がりやすいというか。

ゆうた　焙煎所はどうなの？？

焙煎所は機能なんですよね。作る為のインスピレーションというよりかは、いかに使いやすいか…ですね。

ゆうた　味覚と嗅覚を研ぎ澄ますんで、あまりごちゃつかないことを意識してますね。あと、香辛料やニンニクとか、香りの強いものは控えてるんですよね。

のぶ　香水とかもですよね。感覚が鈍ってしまうんですか？

ゆうた　焙煎中は感覚を極限まで研ぎ澄ませてるんですよ。何度も焙煎して、レシピを作って、完成させてるんです。それで、香りの強いものが身体に入った状態でレシピ通り作ると、自信がなくなっちゃって、とても不安になるんです。そのレシピを作った当時の感覚とずれちゃうというか。

あめだ　じゃあお酒は？？

ゆうた　お酒は全然飲みますよ。大好きなんで。

やすか　職人だね。

ゆうた　いやぁ…、職人だなんて…！都内のコーヒー屋さんでの豆の取り扱い、増えて来たんで嬉しいんですよね～。

あめだ　私は刺繍糸が入れられる棚があるんだけどそれが欲しいな。あとは150色の色鉛筆！

のぶ　どれぐらいの大きさなんですか？

あめだ　結構大きいんだよね。色がずらーっと並べられて見てるだけで幸せなんだよね。メーカーによって、色味が全然違うから、面白いんだよね。日本のメーカーはどちらかというと、マットな感じ！

ゆうた　棚はいくらくらいですか？？

あめだ　多分50000円くらいなの。あとね、とても大きいの。刺繍糸にも種類あって、作りたい物によって変えてるからたくさん入ってる中から選ぶのが、憧れなんだよね。

ゆうた　確かに全然色味違いますね！

あめだ　メーカーによって強みが違うから面白いよね。

のぶ　ゆうたさん、結局欲しい物、ソファでいいんですか？

ゆうた　はい、面白くないけどソファ欲しいです笑

3人掛けくらいの大きさの！

2023.12.1

small alley

12月の保育主題

『 年の暮れ　遠くの方で明日の音 』

年の暮れ、寒さが身を引き締める

社会福祉法人 東香会

保育理念　『 いきいき 』

合言葉　『 すべて子ども中心 』

基本保育方針

『子どもの成長・発達・生活に寄与する人はすべて保育者』
『永続的な暮らしを目指し、物質と事象と生命との関係性を深める』
『地域で安心して子育てができるように』

私の心の奥行き

園長 **名古屋 彩佳**

今年は11月も暖かい日が続き、いつもならば出番が少ない薄手のアウターをたくさん着ることができました。
私はなぜかそんな洋服を買いがちで、何度かしか着られずに奥へ奥へとしまわれる結末が多いです。
今年は登場頻度が上がり、機能性が低い洋服を買った自分を責めずに済みました。色合いや形が好きで買ってしまうんですよね。

さて、みなさま、こども美術館へのご来館ありがとうございました。
日々の子どもたちの姿、保育者の視点を少しでも感じられていたら嬉しいです。
アンケートへのご回答もありがとうございました。情報の発信・展示の場所がわかりにくかった、開催時間などのご意見をいただき、来年度はもう少し工夫して開催できるよう振り返っております。

先日ポッドキャストで「自他の境界線」についてのエピソードを聞きました。
自他の境界線は無数にあり、会社、家族、それぞれのコミュニティに存在する。そして、この境界線が強すぎると関係性が希薄になってしまう可能性がある。また自分の中にも境界線があり、会社での自分、家での自分と境界線をひきながら生きている。特に会社の中での境界線の強さはヒエラルキーを高くさせ、人を道具的なものとして扱うことにもつながるのではないか。人間は一度境界線を引くとその境界線を壊しづらい、しかし馬はシチュエーションによって境界線がその都度変わる。というような話がされていました。

この話を聞いて、Aちゃんとのやりとりを思い出しました。
ある日一緒に「仕事」という絵本を読んでいた日のことです。世の中にある仕事についての説明が描かれた絵本で、美容師さんのページがあったのでAちゃんに指を差して聞きました。

私「Aちゃんのお母さんはこれだよね、美容師さん」
Aちゃん「え、違うよ。こんなんじゃない。全然違う」
私「髪の毛チョキチョキってきるでしょ？」
Aちゃん「うん、でもこんな髪型じゃないし、こんな服着てない、顔も違う」

そこでハッとさせられました。
確かに、美容師さんの説明がそこに書かれていたけれど、それはAちゃんのお母さんではない。
なんて野暮な聞き方をしてしまったんだろうかと反省しました。
美容師のお母さんではなく、まず「お母さん」という人がいる。もちろん仕事というカテゴリーが“悪”ではないですが、Aちゃんの言葉によって自分が失いかけた視点が呼び起こされた気がしました。大人になると何かと人をカテゴリーに入れようとする傾向があり、それで楽になる一方でその人自身が見えなくなりやすくなる。人を知るためにカテゴリーに当てはめて見るのにもかかわらず、本質的な部分が見えなくなるなと思うのです。

私が小学生の頃、動物占いというのが爆発的に流行り、私も大好きで家族や友人の生年月日を聞いて表に当てはめていました。あの人との相性は…とそこに当てはまるだろうと仮定して、わかった風でいたのだなと思います。目の前にいる人がどんな人なのかわからない、だから何かに頼ろうとするのでしょうね。その反面、ポッドキャストでいう馬たちは、持っている五感のようなものをフル回転させて相手を知ろうとする。どっちが優れているかとか劣っているのかというよりは、そんな視点が自分の中に一瞬でも舞い降りる、そんな機会があることってとても幸せなことだと思うのでした。

12月のスケジュール

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8 成道会	9	10 氷川神社 お餅つき
11	12	13	14	15	16	17 常盤松公園 お餅つき
18	19	20	21	22 冬至	23	24
25	26	27	28 保育納め	29	30	31

ー お知らせ ー

ー 看護師より ー

ー キッチンより ー

あっという間に時が過ぎ、今年も残すところあとひと月となりました。
先月は、けやき組のこどもたちとセッションして味と名前を決めた「ちょっぴりからいおこさまカレー」と美術館のおみやげ「MAGman」が新しくsmallalleyの献立に仲間入りしました！

今年の美術館のテーマ『マグマ』に模した真っ黒な生地に赤い餡のMAGmanにも、「ちょっぴりからいおこさまカレー」のエッセンスが詰まっています。
一番うれしかったのは「MAGman、まるで夢のようにおいしかったよ」というこどもの言葉。試行錯誤を重ねて作り上げたので、喜んで食べてくれて感激もひとしおでした！！

12月の行事食は、
22日〈冬至〉　かぼちゃの煮物と「ん」のつく食材を使った献立、
26日〈もちつき〉　乳児はおこわ、幼児はおもち、具沢山のけんちん汁を予定しています。

また、みんなで協力してゆずジャムをつくります。
パンと一緒に、そして調味料としても提供します。
美味しく出来上がるか、楽しみです！